

平成 29 年 11 月 22 日

碧海信用金庫

各 位

2017 年度半期ディスクロージャー情報の開示について

碧海信用金庫（理事長：石川 澄夫）はこのたび、四半期ごとに発行している情報誌「Hekikai Report」の誌面上で、当金庫の 2017 年度半期のディスクロージャー情報を紹介させていただきましたので、お知らせいたします。

記

1. 主な開示内容

■業績ハイライト	■財務諸表
■地域社会の活性化への取り組み	■自己資本比率
■お客さま満足度向上への取り組み	■時価情報
■女性の活躍推進への取り組み	■自己資本の充実の状況

※自己資本の充実の状況はホームページ上のみで掲載しています。

2. 情報誌「Hekikai Report」の概要

〔情報誌名〕 「Hekikai Report vol. 36 秋号」（へきかいレポート）

〔サイズ〕 A4 カラー 23 ページ

〔発行部数〕 8,000 部

〔主な配付先〕 当金庫の取引先ならびに関係機関等

3. 店頭での縦覧開始

- ・本情報誌ならびに半期ディスクロージャー情報については、当金庫の店頭・ロビーでご覧いただけます。
- ・当金庫ホームページ（<http://www.hekishin.jp/>）でも、ディスクロージャー情報の内容を開示します。

以 上

「Hekikai Report vol. 36 秋号」のイメージ

Hekikai Report

Hekishin Business Report quarterly Autumn 2017

vol. 36
秋号

へきしん

2017年度半期ディスクロージャー

平成29年4月1日～平成29年9月30日



へきしんディスクロージャー
2017年度半期

企業訪問 ～地域を支える公共機関編～
安城ビジネスコンシェルジュ
センター員 生熊 良一氏
チーフコーディネーター 二村 康輝 氏

地域の景気動向 平成29年9月調査
ビジネスレポート
上司と部下のギャップを探れ! 22
"働き方意識"を突破せよ!



DISCLOSURE
Hekikai Report

へきしん2017年度半期ディスクロージャー

当金庫の2017年度上半期の業況をお知らせいたします。

預金残高

預金残高は、普通預金・定期預金を中心に増加し、前期末比680億円増の1兆355億円となりました。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
前期末	19,134	19,219	19,362	19,675	20,355

貸出金

貸出金残高は、住宅ローンなどの増加により、前期末比161億円増の1兆379億円となりました。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
前期末	9,926	10,063	10,176	10,217	10,370

純資産

純資産は、前期末比15億円増の1,800億円となりました。また、創業以来の剰余金である利益剰余金は、前期末比16億円増の1,630億円となり、資本金とともに十分な新資本を備えています。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
前期末	1,720	1,795	1,800	1,784	1,800

業務純益・経常利益

業務純益は、国債等債券関係利益の減少などにより、前年同期比ら増減の10億円となりました。また、経常利益は、株式等関係利益の増加などにより、前年同期比23億円増の22億円となりました。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
前期末	32	55	53	2122	46
前期末	32	55	53	2122	46
前期末	32	55	53	2122	46

自己資本比率

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、前期末比0.91ポイント低下の16.07%となりました。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
前期末	18.01	17.68	17.26	16.96	16.07

損益の状況

平成20年度上半期は、貸金利益や株式等関係利益が増加しましたが、国債等債券関係利益の減少や経費の増加などにより、経常利益22億円、当期純利益17億円となりました。

	平成20年度 上半期	平成21年度 上半期	増減
業務純益	10,261	10,023	△237
貸金利益	9,140	9,348	208
国債等債券関係利益	608	488	△119
その他関係利益	512	176	△336
(うち関係者関係利益)	472	169	△302
経費	8,069	8,372	302
人件費	5,172	5,382	209
物件費	2,618	2,741	122
一般貸倒引当金繰入	—	—	—
業務純益 (net)	2,192	1,651	△540
営業費用繰上 (net)	2,192	1,651	△540
当期純利益	75	640	565
不払関係者利益	147	161	14
株式等関係利益	△38	412	450
経常利益	2,267	2,290	23
特別利益	△2	△8	△6
当期純利益	1,616	1,740	123

不良債権の状況

「事業再生・経営支援活動」を主軸に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めた結果、金融再生法ベースの不良債権残高は前期末比増減の320億円、不良債権率は前期末比0.06ポイント低下の3.08%となりました。

年度	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末	2020年 3月末	2021年 3月末
不良債権率 (%)	3.26%	3.33%	3.22%	3.14%	3.08%

当金庫の概況 (平成29年度末)

創 設	昭和25年10月25日
総 資 本	2兆3,380億円
預 金	2兆355億円
貸 出 金	1兆379億円
出 資 金	12億56百万円
自 己 資 本 比 率	16.07% (半期)
店 舗 数	77店舗 (うち出資系1カ所)
監 査 員 数	1カ所 (ピコフ)
店舗ATM・ATMコーナー	520所 (ATMコーナー含む)
役 員 数	1,326人
本 店 所 在 地	安城市御幸町15番1号

専 業 評 価

中小企業並びに地域大企業の地域金融機関として 地域経済発展のため貢献する。

J C R 格 付

A+ へきしんは、(前)日本信用研究所(JCR)より、業務評価を付与して、13段階で「A+」(安定)の格付を得ています。

格付の意義

- ※格付は事業の信用力、返済能力、財務力、経営力などを総合的に評価した結果として算出されます。
- ※格付は格付機関の調査に基づき算出され、格付機関の調査結果に基づいて算出されています。
- ※本資料に掲載している格付については、金庫自身の発表を以てしていません。
- ※本誌に掲載している格付については、金庫自身の発表を以てしていません。